

# 特別支援教育 あどばいすタイム

心が軽くなる、子どもの困り感に寄り添う  
～お悩みのある先生方へ～



これまでに寄せられた質問や相談の中から  
Q&A形式でお答えします。

徳島県立総合教育センター  
特別支援・相談課

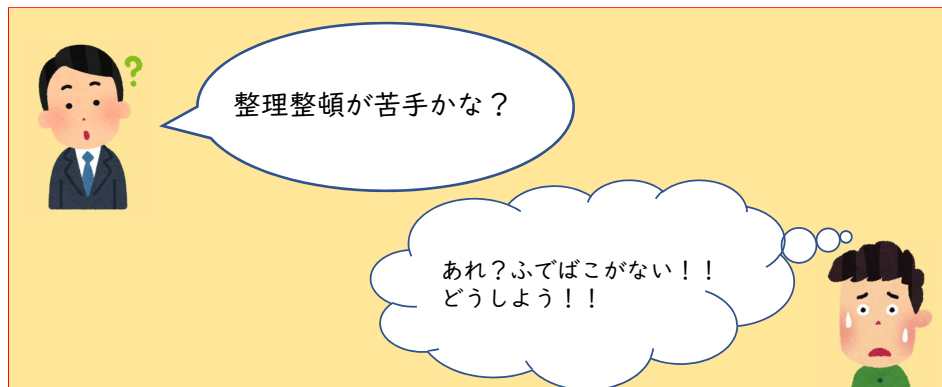
## はじめに

- 対象となる児童や場面、学級の実態についての詳細は  
分かりかねるので、あくまでも広い捉えでの提案とな  
ります。
- お子さんによっては、専門機関等のトレーニングを受  
けている場合もあります。保護者の方の了解が得られ  
た場合には、積極的に専門機関とつながり、情報共有  
をしたり、学校でもできるトレーニング内容を教えて  
いただいたりしてください。

2

### 相談①

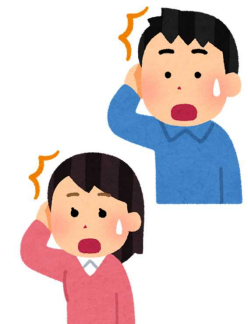
忘れ物が多く、身の回りの整理整頓が苦手な子への  
手立てについて



特別支援教育あどばいすタイムに寄せられた質問より

忘れ物が多く、身の回りの整理整頓が苦手な  
理由として考えられること

- ・準備物を理解していない
- ・準備をする時間が足りない
- ・必要な物がどこにあるかわからない



忘れ物を少なくするには

ポイント

- ①準備物をチェックする習慣をつける
- ②学校の準備をルーティンにする
- ③物の置き場所を一緒に決める（整理整頓の習慣づけ）



ポイント

①準備物をチェックする習慣をつける

自分の持ち物を覚えていない場合

- ・持ち物にシールや印（マーク）をつける  
名前の頭文字やイニシャル、好きなキャラクターのシール  
目立つように
- ・学級のおとし物箱を作る  
おとし物を拾った人は、学級のおとし物箱に入れる  
下校前に、本人や先生が中を確認する



ポイント

①準備物をチェックする習慣をつける

学校の準備物を覚えていない場合

- ・「持ち物チェック表」で持ち物を確認
- ・明日の勉強に必要なものを確かめる

チェックひょう	ふてばこ
<input type="checkbox"/>	えんぴつ 5本
<input type="checkbox"/>	けしゴム
<input type="checkbox"/>	ものさし
<input type="checkbox"/>	なまえペン
<input type="checkbox"/>	赤えんぴつ

チェックひょう	月	日	よう日
1	じかんわり	きょうかしよ	ノート
2	こくご	○	
3	さんすう		
4	せいしかつ		
5	おんがく		
	れんらくちよう		
	プリント		
	おたよりへんじ		



カバンに入れたら表に○をする

学校で、メモを見ながら確認する習慣をつける

ポイント

②学校の準備をルーティンにする

1日のスケジュールの中に、学校の準備の時間を組み込む

- ・帰ってすぐ
- ・夕食後
- ・入浴後
- ・寝る前



ポイント

③物の置き場所を一緒に決める（整理整頓の習慣づけ）

どこに片付けるかがわからない場合

- 片付ける場所に文字・図・写真で目印をつける
- 片付ける場所を色で示す



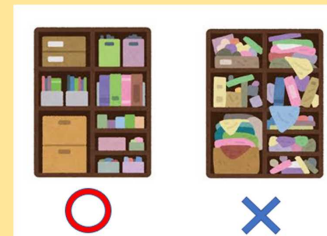
ポイント

③物の置き場所を一緒に決める（整理整頓の習慣づけ）

整頓して片付けることがむずかしい場合

- 写真や絵で終わりを示す  
片付いている状態の写真や絵をわかりやすく提示

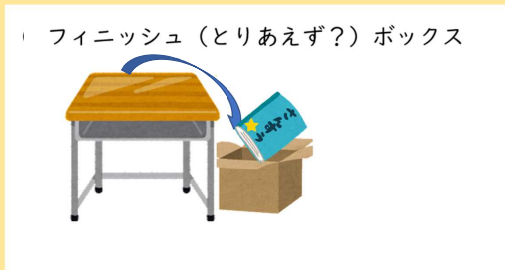
お道具箱  
ロッカー  
靴箱  
本棚



ポイント

③必要な物がわかるようにする（整理整頓の習慣づけ）

必要な物と、そうでない物の区別がむずかしい場合



ポイント

③ファイルを色分けして視覚的にわかりやすくする（整理整頓の習慣づけ）

プリントが管理できない場合

- ファイルを使ってらくらく整理
- 保護者へのプリント等は種類別にファイルの色を分ける。
- 授業終了時に片付けの時間を確保



【空間認知に弱さがある場合、  
整理整頓以外にも生活・学習面で難しいことがあります】

決められた場所を掃除する

### 拭いた場所がわからない場合

- ・作業する場所を区切る
- ・机ふきのヒント  
机にカラーシールを貼り、それに従って台ふきをする



### 相談②

集会や行事に参加することがむずかしい  
児童の指導について



集団活動への参加は、好きではない？

どう行動したらよいかわからない！  
うまくできないかも……。



特別支援教育あどばいすタイムに寄せられた質問より

### 相談②

集会や行事に参加することがむずかしい  
児童の指導について

- ①行事の前には具体的に活動内容を知らせる
- ②どう行動したらよいかを具体的に指示する
- ③視覚的に何度も確認できる手がかりを示す

### 行事に参加しやすい環境づくり（入学式編）

- ・スライドや文字等で、事前に式の流れを示し、確認しておく
- ・入学式会場や教室を下見させてもらう
- ・去年の入学式の様子をビデオで見せておく
- ・当日、進行をスクリーンに映したり、祝辞を言う際にキーワードを見せたりする

- 1 かいしきのことば
- 2 こうかをうたう
- 3 こうちょうせんせいの  
おはなし
- 4 ●●●●●

## 行事に参加しやすい環境づくり（遠足編）



- ・写真入りタイムスケジュール
- ・下見に行ったときに、ポイントとなる場所や建物をデジカメにとっておく

## 行事に参加しやすい環境づくり（遠足編）

- ・一緒に行く先生方の写真も添える

いっしょに いく せんせい



○○せんせい △△せんせい ◎◎せんせい

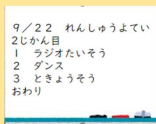
- ・絵や写真入りのミニスケジュールをつくり、持たせる  
ストラップをつけて首からかける  
(すぐチェックできる)



1	がっこう	
2	バス	
3	トイレ	
4	こうえん	
5	おべんとう	
6	トイレ	
7	バス	
8	がっこう	

## 行事に参加しやすい環境づくり（運動会の練習編）

- ・運動会の練習の流れを教室で確認しておく



ホワイトボード

- ・立ち位置やポイントに視覚的手がかりを置く  
カラーコーン(ミニコーン)  
カラーリング(小さいフラフープみたいなもの)  
置いてわかりやすい目印にする  
小さいので片付けもスピーディー



## 行事に参加しやすい環境づくり（運動会の練習編）

- ・カラーフィールドパウダー

運動場にトラックを引く際に使用して、色分け

- ・カラー軍手

左右色違いをはめて先生がお手本を示す



- ・片手だけにバンダナ

ダンスなどのふりがより覚えやすくなる



■予告した練習回数はきっちり守る

## 行事に参加しやすい環境づくり（運動会編）

### ・運動会のピストル

大きな音や爆発音が苦手  
合図の音を笛に替える方法も



## 行事に参加しやすい環境づくり（音楽会編）



- ・選曲を工夫
- ・演奏する楽器を工夫

※リコーダーなどがむずかしい場合

- ・落ち着いて聴ける場所を提供
- ・体のどこかに触れて安心させる



## （参考文献）

- ・教室でできる特別支援教育のアイデア 小学校編 月森 久江編集 図書文化
- ・教室でできる特別支援教育のアイデア 中学校編 月森 久江編集 図書文化
- ・クラスで気になる子のサッとツール&ふわっとサポート333 阿部 利彦著 ほんの森出版
- ・特別支援学級ハンドブック 改訂版（素案）



### 相談③

多動傾向にある児童が集中を継続させながら学習に取り組む指導の工夫や方法、配慮すべきことについて

- ①席を前の方にし、行動モデルとなる児童生徒が、視界に入るようにする。
- ②学習活動の流れとともに、「自分で取り組む時間」や「終わり」を伝えておく。
- ③授業の中で、動くことが推奨される時間を設定しておく。
- ④動く時間の前に、次の行動を掲示して伝えておく。





ポイント

①席を前の方にし、行動モデルとなる児童生徒が、視界に入るようにする。

- ・席をできるだけ前に配置する。（適切でないケースもある。）
- ・前から2番目以降の席にする時は、行動モデルとなる児童生徒が視界に入るようにする。
- ・教師から近い配置であることを利用して、困ったときに伝え合うサインを決めておく。



ポイント

②学習活動の流れとともに、「自分で取り組む時間」や「終わり」を伝えておく。

- ・学習活動の流れを掲示する。
- ・「〇番までできたらおわり」「〇時〇分まで自分で取り組む」等、ゴールを伝えておく。
- ・「2番までにしようか。3番までにしようか。」「〇時〇分までにする？」等、時には選択権や決定権を預ける。



ポイント

③授業の中で、動くことが推奨される時間を設定しておく。

- ・動く必要がある係を任せる。
- ・互いの作品を鑑賞したり、友達と発表し合ったりする活動を設定する。
- ・課題の提示場所や活動場所を変える等、ワクワクする変化を取り入れる。
- ・その場でできる簡単なストレッチやゲームを取り入れる。



ポイント

④動く時間の前に、次の行動を掲示して伝えておく。

動く前に、終わったら次にすることを掲示して伝えておく。



終わった後に、掲示を見て、若しくは周囲の動きを見て、次の行動に移ることができる。



自分で動くことができた経験を積むことができる。



## ちょこっとアドバイス

- ・授業する時の立ち位置を変える。

ただし、位置によって見えづらい子に配慮は必要。



- ・教師に起きる小さな変化を設定し、注目を誘う。

ただし、「わたしが（ぼくが）……。」と走り寄ってくる前に終了する状況を設定すること。

## ちょこっとアドバイス

- ・先生の少し残念な小話を間に挟む。

(例) 先生のちょっとした悩みや、つらかったこと等を打ち明ける。

ポイントは、先生自身に本当に起きたことで、ちょっと笑える程度の、だいたいの人が経験したことがある内容にすること。

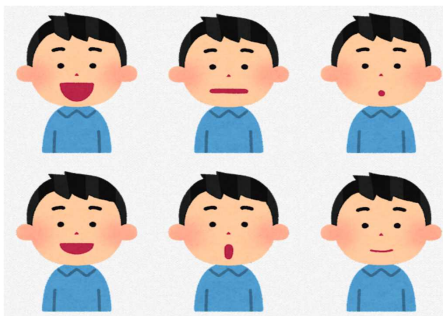
- ・設定している作業が早めに終わった場合の「すること」を用意しておく。

(例) 誰でもできそうで、目的があって、夢中でできること



## 相談④

カ行の発音が難しい児童への指導（心理面を踏まえ、やる気を失わせない訓練の方法があれば知りたいです。）



## カ行音の練習

～舌圧子を使う方法～

- ①舌を下の歯の裏側につける練習をする。  
難しい場合は、「あー」の口をつくる。
- ②舌の先を舌圧子で押さえて、「か」と言ってみる。
- ③少しずつ押さえる力を弱くしていく。

～お菓子を使う方法～

- ①小さいお菓子を舌の上に置く。
- ②舌から落ちないように注意するよう伝える。
- ③「か」と言ってみる。

●「キ」よりも先に「ケ」を練習する。（口を開けて言う音の方が難易度が低くなる。）

- ①「カ」の音が言えることを確認
- ②「k」の音の練習
- ③「k」と発音した後に、「エ」をくっつける。
- ④少しずつ間隔をせまくしていく。



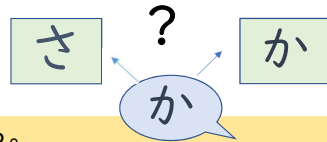
## 構音器官の運動機能を高める



- 唇を使う。(楽器を吹く・シャボン玉・風船ガム等)
- 舌を使う。(アメをなめる・あっかんべー・風船ガム等)
- 口の周り全てを使う。(ブクブクうがい・あっぷっぷー・くちパククイズ等)



## 音を聞き分ける力を養う



- 2つの音を聞いて、違う音であることを判断する。

## 単語レベルでの練習

- 語頭につくもの。(かみ・からす等)
- 語尾につくもの。(きんか・すいか等)
- 語中につくもの。(さかな・みかん等)



## 文レベルでの練習

- 練習している音のつく名詞や動詞、その他の品詞を組み合わせた短文を作成し、音読や復唱を行う。

『構音訓練のためのドリルブック』  
岡崎恵子、船山美奈子：編著  
今井智子、大平章子、加藤正子、川田順子、  
竹下圭子、三浦真弓、山下夕香里：著  
協同医書出版社

『だれでもできる  
発音・発語指導』  
柳生 浩：編著  
田研出版株式会社

## 「誤り」の種類①

- 置換 → 他の音に置き換わっているもの
- 省略 → 語音の言葉が省略されて母音部分のみになっているもの
- 歪み → 日本語の語音として表記できない音に変化しているもの

## 「誤り」の種類②

- 音の配列の誤り → 「音」に注目する力の未熟さが原因

## 言葉に関する楽しい活動

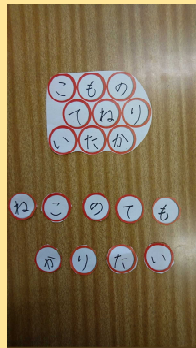
- 風船バドミントンやキャッチボールをしながらの言葉遊び
  - ・しりとり・○文字言葉・「あ」が付く言葉・テーマを決める(虫、キャラクター、都道府県等)・物語作成
- 連想言葉
  - ・慣れてきたら、作業をしながら行う。(綿棒タワー・ジェンガ等)
- ジェスチャークイズ
  - ・出題する側も答える側も、両方経験する。
  - ・慣れてきたら、だんだんと前後の動きも必要な内容にする。(自動販売機で飲み物を買う・洗濯物を取り入れて畳む等)



## 言葉に関する楽しい活動

### ●並び替え言葉

- ・慣れてきたら、文字数を増やす。
- ・時間がかかっている場合は、切り取って並び替えて考えてもよいことにする。(→)
- ・出題もしてもらう。



## 効果的な指導のために

- ・子どもによって、原因や状態が違うので、もし専門機関等にトレーニングに通っているケースで、保護者の理解が得られるのであれば、積極的に連携してください。言語聴覚士（ST）の行っているトレーニングを伝えてくれたり、見学をさせてもらえたりすることもあります。
- ・もし、専門機関等の活用や受診を全く行っていない場合は、保護者に相談を促すことも選択肢の一つです。専門家とできるだけ早期につながり、構音検査等で見たてをしてもらうことで、より効果的なトレーニングができます。共に子どものために連携して進めていくという思いを、伝えてみてください。

最後まで聞いていただき  
ありがとうございました。

